



平成27年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年2月13日

上場会社名 プレシジョン・システム・サイエンス株式会社

上場取引所 東

コード番号 7707 URL <http://www.pss.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田島 秀二

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 秋本 淳 TEL 047-303-4800

四半期報告書提出予定日 平成27年2月13日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家向け）

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年6月期第2四半期の連結業績（平成26年7月1日～平成26年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年6月期第2四半期	2,459	28.9	△289	ー	△208	ー	△219	ー
26年6月期第2四半期	1,907	△2.0	△223	ー	△130	ー	1,289	ー

(注) 包括利益 27年6月期第2四半期 △182百万円 (ー%) 26年6月期第2四半期 △926百万円 (ー%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年6月期第2四半期	△12.01	ー
26年6月期第2四半期	70.64	ー

(注) 当社は平成26年1月1日付で、普通株式1株につき200株の割合をもって分割する株式分割を実施致しました。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭
27年6月期第2四半期	6,535	202.98	4,005	202.98	56.7	202.98
26年6月期	7,298	220.22	4,325	220.22	55.1	220.22

(参考) 自己資本 27年6月期第2四半期 3,704百万円 26年6月期 4,019百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年6月期	ー	0.00	ー	7.5	7.5
27年6月期	ー	0.00	ー	ー	ー
27年6月期(予想)	ー	ー	ー	0.0	0.0

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成27年6月期の連結業績予想（平成26年7月1日～平成27年6月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,000	27.5	△400	ー	△330	ー	△350	ー	△19.18

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年6月期2Q	18,252,000株	26年6月期	18,252,000株
② 期末自己株式数	27年6月期2Q	0株	26年6月期	0株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年6月期2Q	18,252,000株	26年6月期2Q	18,252,000株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.5「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税引き上げや天候不順の影響などから個人消費が低迷いたしました。政府の経済政策や金融緩和などにより、企業部門の生産活動が回復し、雇用・所得環境にも改善が見られるなど、景気は緩やかに回復してまいりました。

このような状況の中、当社グループは、バイオ関連業界において、ラボ(研究室)自動化や臨床診断用の各種装置、それらに使用される試薬や反応容器などの消耗品類の製造販売に注力してまいりました。

これら製品は、ロシユグループ、キアゲングループ、アボットグループ、ライフテクノロジーズ社、ナノストリング社、(株)LSIメディエンスなどへのOEM販売(相手先ブランドによる販売)を中心に、欧米子会社を通じた自社販売も含め、ワールドワイドに事業展開しております。

当第2四半期連結累計期間は、売上高2,459百万円(前年同期比28.9%増)、売上総利益838百万円(前年同期比22.0%増)となりました。キアゲングループ及びアボットグループ向け販売が好調に推移いたしました。

キアゲングループ向けのDNA自動抽出装置については、昨年、キアゲングループにおいて、試薬も含めた診断システムの一部として米国FDAの認可承認を受けたことから、従来の研究分野に加えて臨床分野にも用途が拡大いたしました。特に、当第2四半期連結累計期間においては、キアゲングループが取り組んでいるエボラウイルス(エボラ出血熱の原因ウイルス)の遺伝子検査に利用されたことから、装置の需要が盛り上がりました。

アボットグループ向けの新規OEM製品である臨床診断用の検体前処理装置については、最終的な開発売上を計上した他、新製品としての装置及び試薬・消耗品の出荷も順調に開始されました。

一方、費用面では、エリテックグループ向けに開発中である全自動遺伝子診断装置「geneLEAD(ジーンリード)XII」について、ソフトウェアの改良と修正に相当な時間と費用が発生したことを主な要因として、研究開発費は472百万円(前年同期比91.3%増)と大きく膨らみました。その結果、販売費及び一般管理費は1,128百万円(前年同期比23.8%増)となり、営業損失△289百万円(前年同期は営業損失△223百万円)となりました。同製品に関しては、すでに、製品供給契約にも調印し、開発活動も最終局面を迎えておりますが、もう少しの間、開発費の支出が続くものと考えております。

その他、為替差益77百万円の発生などにより、経常損失△208百万円(前年同期は経常損失△130百万円)、四半期純損失△219百万円(前年同期は四半期純利益1,289百万円)となりました。なお、前年同期は、多額の特別利益(投資有価証券売却益)を計上しております。

取引先別の販売状況は、下表のとおりであります。

	前第2四半期 連結累計期間		当第2四半期 連結累計期間		対前年同期 増減率	(参考) 前連結会計年度	
	金額	構成比	金額	構成比		金額	構成比
	百万円	%	百万円	%	%	百万円	%
ロシユグループ	596	31.2	542	22.1	△9.0	1,117	28.5
キアゲングループ	327	17.2	504	20.5	54.2	683	17.4
その他	983	51.6	1,411	57.4	43.5	2,120	54.1
合計	1,907	100.0	2,459	100.0	28.9	3,921	100.0

ロシユグループ向け販売は542百万円(前年同期比9.0%減)と低調でしたが、既に記載のとおり、キアゲングループ向け販売は好調に推移し504百万円(前年同期比54.2%増)となりました。

その他取引先に関しては1,411百万円(前年同期比43.5%増)となりました。既に記載のとおり、新規OEM先となったアボットグループ向けの販売が好調であったことに加え、米国OEM先であるナノストリング社向けの販売も好調に推移いたしました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(セグメント別売上高)

		前第2四半期 連結累計期間		当第2四半期 連結累計期間		対前年同期 増減率	(参考) 前連結会計年度	
		金額	構成比	金額	構成比		金額	構成比
報告セグメント	装置	1,144	60.0	1,536	62.5	34.3	2,320	59.2
	試薬・消耗品	481	25.2	573	23.3	19.2	978	24.9
	メンテナンス関連	146	7.7	164	6.7	12.5	300	7.7
	受託製造	130	6.8	185	7.5	42.0	315	8.0
	その他	5	0.3	—	—	—	6	0.2
	合計	1,907	100.0	2,459	100.0	28.9	3,921	100.0

① 装置

当第2四半期連結累計期間は、売上高1,536百万円(前年同期比34.3%増)となりました。一方で、営業費用は1,364百万円(前年同期比21.3%増)となり、営業利益172百万円(前年同期比786.8%増)となりました。詳細は、以下のとおりであります。

(a) ラボ(研究室)自動化装置

ロシユグループやキアゲングループに供給しているDNA自動抽出装置を中心としたラボ(研究室)向けの各種自動化装置のことであり、448台の出荷により、売上高1,016百万円(前年同期比16.1%増)となりました。一方で、営業費用は845百万円(前年同期比4.3%増)となり、営業利益170百万円(前年同期比163.8%増)となりました。前年同期には、一部ロシユグループ向けに開発売上がありましたが、当第2四半期連結累計期間は、全て製品機の出荷となりました。

(b) 臨床診断装置

株LSIメディエンスに供給している免疫化学発光測定装置やアボットグループ向けの新規OEM製品である臨床診断用の検体前処理装置などの臨床分野向け装置のことであり、196台の出荷に開発売上也加え、売上高520百万円(前年同期比93.5%増)となりました。一方で、営業費用518百万円(前年同期比65.1%増)となり、営業利益1百万円(前年同期は営業損失△45百万円)となりました。新製品の立ち上げ期であり、納期優先で対応しているため、現在のところ思うような利幅確保ができておりませんが、今後、量産化とともにコストダウン対策も可能であると考えております。

② 試薬・消耗品

当区分は、当社装置の使用に伴い消費される、DNA抽出用の試薬や反応容器などの専用プラスチック消耗品の区分であります。主要なOEM先は、OEM先が自社で試薬を製造販売しておりますが、プラスチック消耗品は当社から購入する契約となっております。また、一部のOEM先に対しては、当社が試薬製造も請け負っており、昨年11月には、当社「大館試薬センター」が稼働し、エリテックグループやアボットグループ向けの試薬製造が開始されております。

当第2四半期連結累計期間は、売上高573百万円(前年同期比19.2%増)となりました。営業費用は537百万円(前年同期比19.3%増)となり、営業利益35百万円(前年同期比17.8%増)となりました。当区分の売上高は、基本的には装置の累計出荷台数に応じて売上拡大が見込める性質があるため、順調な伸長が期待できるものと考えております。

③ メンテナンス関連

当区分は、装置メンテナンスやスペアパーツ(交換部品)販売などの区分であります。主要なOEM先は、OEM先が自社でメンテナンス対応しておりますが、スペアパーツは当社から購入する契約となっております。

当第2四半期連結累計期間は、売上高164百万円(前年同期比12.5%増)となりました。営業費用は147百万円(前年同期比5.3%増)となり、営業利益17百万円(前年同期比170.9%増)となりました。当区分の売上高は、基本的には装置の累計出荷台数に応じて売上拡大が見込める性質があるため、順調な伸長が期待できるものと考えております。

④ 受託製造

当区分は、子会社の製造工場であるエヌピーエス㈱が実施している、当社以外の外部からの受託製造事業の区分であります。

当第2四半期連結累計期間は、売上高185百万円(前年同期比42.0%増)となりました。営業費用は171百万円(前年同期比59.5%増)となり、営業利益13百万円(前年同期比41.6%減)となりました。当区分は、当社の主要事業ではないものの、エヌピーエス㈱の収益確保のための事業となっています。

⑤ その他

当区分は、上記①～④のいずれにも該当しない売上を区分しています。主には、PSSキャピタル㈱とベンチャーファンドであるバイオコンテンツ投資事業有限責任組合の事業の区分であります。

当第2四半期連結累計期間は、売上高はなく(前年同期は売上高5百万円)、営業費用は1百万円(前年同期比89.4%減)となり、営業損失△1百万円(前年同期は営業損失△4百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は6,535百万円となり、前連結会計年度末に比べて762百万円の減少となりました。配当金や未払法人税を支払った影響などから、現金及び預金が641百万円減少した他、たな卸資産が212百万円増加、その他流動資産が234百万円減少いたしました。また、減価償却などにより有形固定資産が85百万円減少いたしました。

負債合計は2,530百万円となり、前連結会計年度末に比べて443百万円の減少となりました。未払法人税等が657百万円減少した他、支払手形及び買掛金が279百万円増加、短期借入金が300百万円増加、その他流動負債が202百万円減少、長期借入金が116百万円減少となりました。

純資産合計は4,005百万円となり、前連結会計年度末に比べて319百万円の減少となりました。四半期純損失219百万円の発生と期末配当136百万円の実施により、利益剰余金が356百万円減少した他、為替換算調整勘定が40百万円増加いたしました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ641百万円減少し2,442百万円となりました。

<営業活動によるキャッシュ・フロー>

税金等調整前四半期純損失213百万円、たな卸資産の増加212百万円、法人税等の支払831百万円などの資金の減少がありましたが、減価償却費131百万円、売上債権の減少85百万円、仕入債務の増加179百万円、法人税等の還付額177百万円などの資金の増加があり、営業活動によるキャッシュ・フローとしては625百万円の減少(前年同期は64百万円の増加)となりました。

<投資活動によるキャッシュ・フロー>

有形固定資産の売却による収入60百万円などの資金の増加がありましたが、有形固定資産の取得による支出128百万円などの資金の減少があり、投資活動によるキャッシュ・フローとしては72百万円の減少(前年同期は5,129百万円の増加)となりました。なお、前年同期は、投資有価証券の売却による多額の収入がありました。

<財務活動によるキャッシュ・フロー>

短期借入金の増加300百万円、長期借入れによる収入100百万円などの資金の増加がありましたが、長期借入金の返済による支出270百万円、配当金の支払134百万円などの資金の減少があり、財務活動によるキャッシュ・フローとしては6百万円の減少(前年同期は2,491百万円の減少)となりました。なお、前年同期は、投資事業組合等における少数株主への分配金支払による多額の支出がありました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想に関しましては、下記のとおり修正を実施しております。詳細につきましては、平成27年2月6日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

平成27年6月期通期連結業績予想の修正(平成26年7月1日～平成27年6月30日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	4,500	△400	△420	△440	△24円11銭
今回修正予想(B)	5,000	△400	△330	△350	△19円18銭
増減額(B-A)	500	0	90	90	-
増減率(%)	11.1%	0%	-%	-%	-
(参考)前期実績 平成26年6月期	3,921	△891	△826	611	33円53銭

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,103,317	2,462,197
受取手形及び売掛金	962,980	956,294
商品及び製品	772,808	822,389
仕掛品	201,618	311,222
原材料及び貯蔵品	113,397	167,039
繰延税金資産	7,225	3,615
その他	435,644	201,538
貸倒引当金	△1,359	△1,222
流動資産合計	5,595,632	4,923,075
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	815,110	741,188
機械装置及び運搬具(純額)	117,631	113,950
工具、器具及び備品(純額)	262,098	238,898
土地	369,710	348,829
リース資産(純額)	6,740	5,799
建設仮勘定	2,930	40,192
有形固定資産合計	1,574,222	1,488,859
無形固定資産	69,624	60,018
投資その他の資産	59,266	63,887
固定資産合計	1,703,112	1,612,764
資産合計	7,298,745	6,535,839
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	476,509	755,565
短期借入金	—	300,000
1年内返済予定の長期借入金	588,109	534,010
リース債務	2,654	2,557
未払法人税等	675,617	18,286
賞与引当金	6,608	13,022
その他	442,845	239,857
流動負債合計	2,192,345	1,863,298
固定負債		
長期借入金	665,704	549,218
リース債務	5,884	4,416
繰延税金負債	50,380	52,230
退職給付に係る負債	59,396	60,949
その他	26	—
固定負債合計	781,391	666,814
負債合計	2,973,736	2,530,112

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,217,194	2,217,194
資本剰余金	251,999	251,999
利益剰余金	1,567,688	1,211,556
株主資本合計	4,036,881	3,680,750
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	—	913
為替換算調整勘定	△17,423	23,127
その他の包括利益累計額合計	△17,423	24,040
少数株主持分	305,550	300,935
純資産合計	4,325,008	4,005,726
負債純資産合計	7,298,745	6,535,839

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年7月1日 至平成26年12月31日)
売上高	1,907,525	2,459,499
売上原価	1,219,835	1,620,820
売上総利益	687,690	838,678
販売費及び一般管理費	911,074	1,128,102
営業損失(△)	△223,384	△289,423
営業外収益		
受取利息	526	208
為替差益	41,873	77,679
その他	59,135	10,718
営業外収益合計	101,535	88,606
営業外費用		
支払利息	8,903	7,541
その他	160	—
営業外費用合計	9,063	7,541
経常損失(△)	△130,912	△208,358
特別利益		
投資有価証券売却益	3,822,683	—
固定資産売却益	774	—
特別利益合計	3,823,457	—
特別損失		
固定資産売却損	—	798
固定資産除却損	223	49
減損損失	—	4,303
特別損失合計	223	5,151
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	3,692,321	△213,510
法人税、住民税及び事業税	711,446	6,157
法人税等調整額	467,376	5,467
法人税等合計	1,178,823	11,624
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	2,513,497	△225,134
少数株主利益又は少数株主損失(△)	1,224,218	△5,893
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,289,279	△219,241

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年7月1日 至 平成25年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年7月1日 至 平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	2,513,497	△225,134
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,500,651	2,328
為替換算調整勘定	60,913	40,550
その他の包括利益合計	△3,439,738	42,879
四半期包括利益	△926,240	△182,254
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,050	△177,776
少数株主に係る四半期包括利益	△935,291	△4,477

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年7月1日 至平成26年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	3,692,321	△213,510
減価償却費	89,287	131,508
のれん償却額	—	3,000
引当金の増減額(△は減少)	4,588	6,210
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	—	1,553
受取利息及び受取配当金	△526	△208
支払利息	8,903	7,541
固定資産売却損益(△は益)	△774	798
固定資産除却損	223	49
減損損失	—	4,303
投資有価証券売却損益(△は益)	△3,822,683	—
売上債権の増減額(△は増加)	175,235	85,733
たな卸資産の増減額(△は増加)	△80,882	△212,962
仕入債務の増減額(△は減少)	37,675	179,330
その他	14,668	40,817
小計	118,039	34,165
利息及び配当金の受取額	395	244
利息の支払額	△8,931	△6,550
法人税等の還付額	—	177,917
法人税等の支払額	△44,594	△831,399
営業活動によるキャッシュ・フロー	64,908	△625,622
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△175,158	△128,631
有形固定資産の売却による収入	6,192	60,554
無形固定資産の取得による支出	△33,708	△3,228
無形固定資産の売却による収入	—	74
投資有価証券の売却による収入	5,344,684	—
関係会社株式の取得による支出	△30,000	—
保険積立金の積立による支出	△2,140	△1,564
保険積立金の解約による収入	19,958	36
投資活動によるキャッシュ・フロー	5,129,827	△72,758
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△300,000	300,000
長期借入れによる収入	300,000	100,000
長期借入金の返済による支出	△278,964	△270,585
リース債務の返済による支出	△1,627	△1,565
配当金の支払額	△208,270	△134,793
投資事業組合等における少数株主への分配金支払額	△2,002,686	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,491,548	△6,943
現金及び現金同等物に係る換算差額	43,564	64,204
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,746,752	△641,120
現金及び現金同等物の期首残高	1,826,838	3,083,317
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,573,591	2,442,197

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年7月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書 計上額 (注) 3
	装置	試薬・ 消耗品	メンテナ ンス関連	受託製造	計				
売上高									
外部顧客への売上高	1,144,180	481,117	146,542	130,269	1,902,109	5,416	1,907,525	—	1,907,525
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	1,144,180	481,117	146,542	130,269	1,902,109	5,416	1,907,525	—	1,907,525
セグメント利益又は セグメント損失 (△)	19,402	30,288	6,324	22,545	78,560	△4,263	74,296	△297,681	△223,384

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、PSSキャピタル(株)とベンチャー
ファンドであるバイオコンテンツ投資事業有限責任組合、その投資先であるPaGE Science(株)の事業等を含ん
でおります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△297,681千円は、各報告セグメントに帰属しない全社
費用(一般管理費及び研究開発費等)であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行って
おります。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年7月1日至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書 計上額 (注) 3
	装置	試薬・ 消耗品	メンテナ ンス関連	受託製造	計				
売上高									
外部顧客への売上高	1,536,365	573,319	164,790	185,023	2,459,499	—	2,459,499	—	2,459,499
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	1,536,365	573,319	164,790	185,023	2,459,499	—	2,459,499	—	2,459,499
セグメント利益又は セグメント損失 (△)	172,068	35,678	17,129	13,163	238,039	△1,027	237,012	△526,435	△289,423

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、PSSキャピタル(株)とベンチャー
ファンドであるバイオコンテンツ投資事業有限責任組合の事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△526,435千円は、各報告セグメントに帰属しない全社
費用(一般管理費及び研究開発費等)であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行って
おります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。